

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	アレンジ 4	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	サウンドクリエイターコース		開設期	後期
対象年次	2 年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1 単位		授業形態	実習			
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	恒枝			実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン、エンジニア		
学習目的							
楽曲コンペに対応できるクオリティーの楽曲にするための必要な知識を得て、常に良いものと比較する習慣をつける。 講師が指示したテーマに沿った内容の楽曲になるよう、ジャンルの違いを学んでそれぞれの特徴を掴み、リファレンス楽曲に近づけるために必要な事柄を導き出せるようになる。外部とのやりとりを想定して、相手に対して親切なファイルの送信方法や指示された形式や意図を理解し、的確な判断を下せるようになることを目的とする。							
到達目標							
本科目はグレード対応科目となっており、2 年次後期はグレード17～20に準拠して授業が進行する。ステムミックスやパラデータの出力等オーディオ素材の扱いや、仮歌等のピッチ補正を指導できる。音楽ジャンルの特性を理解し、楽器の選別やリズム、奏法等、講師が指示した内容に沿って楽曲制作ができる。2 年間で学んだ内容を元に、応用、発展できる思考を身につけ、より短時間で効率よく楽曲制作ができるように技術を磨くことを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	学生個々が持つ音楽性等に留意しながら、グルーブレッスン形式で進行する。コンピュータで作曲をするためには、どのような知識やテクニックが必要であるかを意識しながら受講する。さらに、どのようなスキルがあれば思い描いたサウンドが具現化できるかを考え、様々な情報を入手することを意識する必要がある。授業中の制作だけに留まらず、普段から世の中に出回る楽曲と自分のオリジナル楽曲を比較し考え、常に向上心を持って作曲技能や操作方法を発展させることを目指す。						
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽業界の動きや最先端の音楽等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は評価しない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験	0%					
	小テスト	40%	グレード内容の理解度を確認するために実施する				
	提出物	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1 回～1 5 回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	前期の復習			前期の内容を復習し、さらに制作スピードを上げられるように理解を深める。			
2 回	ピッチ補正(1)			グレード1 7 対応。ピッチ補正の基本と操作方法を理解する。			
3 回	ピッチ補正(2)			グレード1 7 対応。講師が用意した歌素材にピッチ補正を施すことができる。			
4 回	R&B風の楽曲			グレード1 8 対応。R&Bについての知識を理解し、作成することができる。			
5 回	Funk風の楽曲			グレード1 8 対応。Funkについての知識を理解し、作成することができる。			
6 回	Rock風の楽曲			グレード1 8 対応。Rockについての知識を理解し、作成することができる。			
7 回	Bossa風の楽曲			グレード1 8 対応。Bossaについての知識を理解し、作成することができる。			
8 回	Techno風の楽曲			グレード1 8 対応。Technoについての知識を理解し、作成することができる。			
9 回	J-Pop風の楽曲			グレード1 8 対応。J-Popについての知識を理解し、作成することができる。			
1 0 回	Jazz風の楽曲			グレード1 8 対応。Jazzについての知識を理解し、作成することができる。			
1 1 回	ステムとパラデータ			グレード1 9 対応。ステムとパラデータについて理解し、書き出すことができる。			
1 2 回	楽曲制作(1)			グレード2 0 対応。講師が指示した内容のデモ音源を制作できる。			
1 3 回	楽曲制作(2)			第1 2 回の続き。リファレンス音源に近づくミックスを行える。			
1 4 回	楽曲制作(3)			第1 3 回の続き。歌詞やリードシートと共に音源を提出できる。			
1 5 回	まとめ			2 年間で学んだことを活かし、求められたテーマに沿った楽曲を制作できる。			